

新入生のみなさんへ

京都大学総長 松 本 紘



京都大学へ入学おめでとうございます。

大学という新たな世界に足を踏み入れ、漠然とした不安や未知への好奇心で一杯のことと思います。希望を胸に、前向きに大学生活を始めてほしいと思います。

これから大学で受ける教育は高等学校とはかなり異なっています。これまでは正解のある問題を解くための方法や考え方を、用意されたカリキュラムの下で習得することが主な学習スタイルであったのではないのでしょうか。京都大学では、自分をどのように育てるのかを自ら考え、それを実現できるように学業を修めることが期待されています。これは113年の本学の歴史において、その濫觴（らんしょう）からもちつづけ、大切にしてきた「自得自発」及び「自学自習」という教育理念による学びの姿です。みなさんはこれまで、自分の学ぶ内容や方法を自ら考え、実行するという経験には乏しいかもしれません。しかしそのことは心配には及びません。そのために教職員がみなさんの「自得自発」及び「自学自習」を助けるために組織され、みなさんとの対話を待っているのです。京都大学の誇る多様な環境において、未知の先端的あるいは深遠な知識や研究に触れることを通じて、自らを大きく育ててほしいと思います。

国際会議などで海外の卓越した研究者と食事をともにする場合など、彼らが各人の専門のみならず、人文学、社会科学、自然科学のそれぞれに広範な知識を持っていることに驚かされることがあります。このように、理系や文系といった枠にとらわれず、豊富な基礎知識を備え、自由な発想、柔軟な思考を持つ人が社会から今後ますます求められるでしょう。みなさんがそうなるためには全人力を鍛える必要があります。そのためのメニューを一層充実させていきたいと思います。幸い、みなさんが学ぶ京都大学は10の学部、14の研究科、1つの学堂、2つの研究部と3つの専門職大学院からなり、専門分野以外の知識にも学内で容易にアクセスできます。また、カリキュラムとしては国内最大級の多様性をもつ全学共通科目が提供されており、

それらを自由に受講することができます。

さらに、本学は日本最大の研究所・研究センター群を擁しています。大学院進学までこれらの先端分野で研究を進める研究者やそこで学ぶ人々と出会う日を待つ必要はありません。学部時代にも是非、ポケットゼミなどを通じて、自ら進んで彼らと出会い、様々な考え方や知識および経験に触れてください。

人生は木の成長に例えられます。大木が育つには肥沃な大地が必要です。土地を富ますことなく、外見のみを整えるだけでは、大木は育ちません。自らを肥沃な大地とするために、また全人力を豊穡なものにするためにも、これから始まる数年間をみなさんの礎をつくる時期として大切にしてください、是非、自らを鍛え、自らに恃み、自らが樹（た）つことができる人（自鍛自恃、自樹自鍛の人）になっていただきたいと思います。

あわせて、大学における勉学には大学生としての生活基盤の確立が欠かせません。健康で安全な生活が送れるように生活の場を整える必要があります。また、大学生はすでに自立した個人であり、社会的な義務および責任が課せられます。好む好まざるにかかわらず、我々は集団の中で生活しています。人とのかかわり方や意見交換の方法をしっかりと身につけるとともに、自らの言動に責任をもち、他人を尊敬尊重することにも心掛けてほしいと思います。

大学生活において悩みを持つこともあるでしょう。その場合には、大学には先輩や教職員に相談してみるものいでしょう、また、みなさんの相談に乗ってくれるカウンセリングセンターや学生相談室もあります。

最近、グローバル化という言葉を目にする機会が多くなっています。京都大学は世界に開かれています。交換留学制度を活用したり、留学生の友をつくったりなど、本学を通じて世界の文化に触れる機会を大いに活用してください。私はグローバル化というキーワードはすでに古くなっており、みなさんが活躍する未来は地球規模さらに宇宙規模でものを考え、人類生存を真剣に見据える時代となっていると思います。その意味でも、地球資源枯渇の問題や温暖化といった環境問題を自らの問題とし、その解決に将来寄与することをみなさん一人一人に期待しています。

京都大学の卓越した教育・研究環境を自らのために活かし、みなさんが有意義な大学生活を過ごされんことを総長として願っています。